

平成25年行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	橋渡し研究加速ネットワークプログラム	担当部局庁	研究振興局	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度～平成28年度	担当課室	ライフサイエンス課	ライフサイエンス課長 板倉康洋			
会計区分	一般会計	政策・施策名	基礎研究の充実及び研究の推進のための環境整備 IX-2 科学技術振興のための基盤の強化				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-	関係する計画、 通知等	健康研究推進戦略(平成21年7月健康研究推進会議決定)、新成長戦略(平成22年6月閣議決定)、第4期科学技術基本計画(平成23年8月閣議決定)、医療イノベーション5か年戦略(平成24年6月医療イノベーション会議)、臨床研究・治験活性化5か年計画2012(平成24年3月)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	医療としての実用化が見込まれる有望な基礎研究の成果を有している大学等に対して、開発戦略策定や薬事法に定める基準を目指した試験物の製造等をはじめとする「橋渡し研究」の支援を行う拠点を整備することにより、研究の成果を着実に国民・患者のための医療として定着させることを目指す。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	全国7か所に設置した橋渡し研究支援拠点において、研究開発支援に必要な生物統計家・知財専門家等の人材の確保・登用を進め、OJTによる育成を行うとともに、必要な設備の整備を実施している。それらを活かして、拠点のシーズ育成能力の強化を図るとともに、恒久的な橋渡し研究拠点を確立させる。また、橋渡し研究を加速するため、全国7箇所の支援拠点を中核として、地域性や開発シーズの特性に応じた、大学等から構成される橋渡し研究ネットワークを形成している。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
	予算 の 状 況	当初予算	-	3,000	3,268	2,967	8,767
		補正予算	-	-	-	-	-
		繰越し等	-	77	-	-	-
		計	-	3,077	3,268	2,967	8,767
	執行額	-	3,031	3,173	-	-	
執行率(%)	-	98.5%	97.1%	-	-		
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (28年度)
	基礎研究の成果が薬事法に基づく治験の段階に移行した数	成果実績		-	15	20	36
		達成度	%	-	42	56	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	橋渡し研究支援拠点で支援しているシーズの数	活動実績 (当初見込み)			110	193	-
					( - )	( - )	( )
単位当たりコスト	16(百万円/シーズ)	算出根拠	16(百万円/シーズ) =(平成24年度執行額:3,173百万円)/(支援シーズ数:193)				
平成25・26年度 予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	諸謝金	0.7百万円	2.0百万円	日本再興戦略に関する「新しい日本のための優先課題推進枠」4,300百万円			
	職員旅費	0.7百万円	0.2百万円				
	委員等旅費	2.0百万円	2.6百万円				
	庁費	0.01百万円	0.02百万円				
	科学技術試験委託費	180.5百万円	222.1百万円				
	研究開発施設共用等促進費補助金	2,783.1百万円	8,540.1百万円				
	計	2,967.0百万円	8,767.0百万円	※四捨五入の関係で計が合わない			

事業所管部局による点検						
		項目	評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	・難病、稀少疾患など、企業が開発をためらう領域のシーズも積極的に支援しており、国が主導で実施すべき事業である。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	・医療機器が輸入超過である等の背景から、我が国発の画期的な医薬品・医療機器等の開発が望まれており、広く国民のニーズがある。		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○	・第4期科学技術基本計画や健康・医療戦略において、橋渡し研究拠点を充実、強化することとされている等、優先度が高い事業である。		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	・支出先の選定に当たっては、公募の上、有識者から構成される外部評価委員会による意見を踏まえた選定を実施しており、妥当である。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○	・補助金取扱要領において補助対象を定める等、負担関係は妥当である。		
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○	・単位当たりコストは昨年度より削減されており、妥当である。		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-	・実施課題について、業務計画書を精査し、適切な支出を行っている。また、支出先・使途を把握し、備品が適切に購入されたか等について、現地での確認等も含む額の確定調査を実施している。		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-			
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	・実施機関とは別にサポート機関を採択し、進捗管理を委託している。PD、POと協力し、適切な成果目標を立て、サイトビジット等でその進捗等について確認を行っている。これにより、効果的に事業を実施している。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	・成果実績・活動実績は昨年度より増加しており、目標達成に向けて着実に成果をあげている。		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	・整備した施設や人材は、拠点間で共同利用し、有効活用に努めている。		
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	<p>○全ての実施機関について、支出先・使途を把握し、備品が適切に購入されたか等について、現地での確認等も含む額の確定調査等を実施してきた。</p> <p>○実績報告書の提出、実施機関へのサイトビジット等により、事業開始時の当初計画と比べた進捗状況や今後の展望について確認をした。</p> <p>○拠点が支援する基礎研究シーズのうち、平成24年度には新たに5件が薬事法に基づく治験の段階に移行するなど、一定の成果を上げている。</p>					
外部有識者の所見						
外部有識者による点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
事業内容の改善	<p>1. 事業評価の観点:有望な基礎研究の成果を有している大学等に対して、開発戦略策定や薬事法に定める基準を目指した試験物の製造等をはじめとする「橋渡し研究」の支援を行う拠点を整備するものであり、事業成果等の観点から検証を行った。</p> <p>2. 所見:本事業は平成23年度からの事業であり、平成24年度には新たに5件が薬事法に基づく治験の段階に移行するなど、一定の成果が見られるが、引き続き、事業の効果的・効率的な実施を目指し、事業成果を検証するべきである。</p>					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
縮減	事業の計画的な終了や有識者の評価による見直し等により、事業効果の高い研究への重点化や実地調査旅費の見直しなど経費の効率化を図り、概算要求に▲722百万円を反映した。					
備考						
【事業に関する情報】 橋渡し研究加速ネットワークプログラム ホームページ: <a href="http://www.tr.mext.go.jp/">http://www.tr.mext.go.jp/</a>						
	平成22年	-	平成23年	新23-0050	平成24年	0251

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

文部科学省  
3,173百万円

諸謝金 0.4百万円  
職員旅費 1.6百万円  
委員等旅費 } を含む

医療としての実用化が見込まれる有望な基礎研究の成果を有している大学等に対して、開発戦略策定や薬事法に定める基準を目指した試験物の製造等をはじめとする「橋渡し研究」の支援を行う拠点を整備することにより、研究の成果を着実に国民・患者のための医療として定着させることを目指す。

[補助]

A. 橋渡し研究加速ネットワークプログラム  
:3,020百万円

大学等(全26機関)

基礎研究の成果を臨床研究へつなげる「橋渡し研究」の実施、研究戦略や薬事法に定める基準を目指した試験物の製造等をはじめとする「橋渡し研究」及びその支援。

[公募 委託]

B. 橋渡し研究加速ネットワークプログラム  
支援事業:150百万円

公益財団法人先端医療振興財団

橋渡し研究加速ネットワークプログラムにおける課題採択における審査、拠点のサポート、研究の評価、事業の管理等の事務を支援。

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位:百万円)



支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	国立大学法人九州大学	創造的次世代医療実現化を担うAROの構築	462	—	—
2	国立大学法人北海道大学	オール北海道先進医学・医療拠点形成	364	—	—
3	国立大学法人東北大学	医工連携を基盤としたトランスレーショナルリサーチ拠点形成	313	—	—
4	国立大学法人東京大学	先端医療の開発を加速する支援拠点形成と実践	283	—	—
5	国立大学法人大阪大学	TR実践のための戦略的高機能拠点整備	269	—	—
6	国立大学法人名古屋大学	持続可能なネットワーク型中部先端医療開発拠点の形成	208	—	—
7	国立大学法人京都大学	創薬・新規医療開発のアカデミア拠点強化	173	—	—
8	国立大学法人東北大学	アカデミアのTR拠点が創出する膵島移植確立のための戦略的アプローチ	92	—	—
9	国立大学法人大阪大学	卵巣癌を対象とした分子標的治療薬BK-UMの臨床開発	90	—	—
10	国立大学法人東京大学	遺伝子組換えウイルスを用いたがん治療開発	86	—	—

※補助事業

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	公益財団法人先端医療振興財団	橋渡し研究加速ネットワークプログラムにおける拠点サポート	150	企画競争	—